社会貨	資本総合整備	<u> </u>	社会!	資本整備総合交	付金										- 令	和05年02月]01日
計画の名称	「定住・交流	(活性化)	・発展」を支	える持続可能なエコ(共生)アイラ	ランドづくり											
計画の期間	令和 0 5 年	度 ~ <	令和05年度	(1年間)										重点配分対象の	該当		
交付対象	宮古島市																
計画の目標	本市は、合作	#前より人[コ減少が続いる	ているものの、都市計	画道路ネット	∼ワークを形成するႯ	平良地域においては、糸	総人口のピーク師	寺より人口が増加	しており、市域にお	いての都市	集中が進行して	いる。今後は	は令和3年1月に開	庁した市	役所を中心	عد
	としたまちづくりの形成及び交通流動の変化等を勘案し、補助国道と主要地方道から成る幹線道路ネットワークや公共交通網を改めて検討する必要がある。																
	他方、本市は2つの空港を有しており、さらに「国際旅客線拠点形成港湾」として平良港が指定され、CIO施設といった受入施設整備が進んでいる中、今後もさらなる入域観光客数の増加が見込まれており、交通面における観光インフラの整備														青		
	が喫緊の課題となっている。加えて、公共交通が脆弱であることもあり、観光客による二次交通はレンタカー・タクシーが大半であり、特にクルーズ船寄港中非常に大きな交通負荷が主要幹線道路へ集中することから、次世代交通システムを含めた														らめた		
	多様な地域交通手段の確保に向けた総合的な検討・実態調査を令和3年度に行い、令和4年度に都市交通マスタープランの策定に取り組み、令和5年度に交通戦略策定に取り組む。																
全体事業貿	費(百万円)	合計(A	\ + B + C + [0)	9 A	!	9 B	0 C	0	D	0	効果促進事業費	の割合C/	(A + B + C + D)	0	%
	計画の成果目標(定量的指標)																

	計画の成果目標(定量(的指標)							
番号			定量的指標の現況値及び目標値						
	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値					
		H28	R2	R8					
1	利便性向上に資する新たなバス路線の設置								
	宮古島市内を走るバス路線数を確認する。	0路線	0路線	1路線					
	備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含	む - 流域水循環計画を含む - 地域再生計画を含む	- 避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供					

1

A 基幹事業																		
	T	事業	地域		直接	事業者	番別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/				(年度)		費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別		間接	₹		作生力」と	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R05	R06	R07 F	₹08 R09	(百万円)	便益比	策定状況
			一体的に実施することにより期待される効果															
		備考																
市街地整備事業	A13-001	都市交通	離島	宮古島市	直接	宮古島市	-	-	都市交通戦略策定調査	都市交通戦略	宮古島市					9		-
											小計					9		
											合計					9		
				.1				4								<u> </u>		
		+	T		T	T	\top	T										
		+	$\overline{}$	T	\top	$\overline{}$	\neg	\top	<u> </u>			\top						\top
	-	+		T	\top			\top				\top			\neg	 		\top
																	<u> </u>	
																T		
		<u> </u>																
			\perp	<u></u>														
																,		
				$\overline{}$	$\overline{}$		$\overline{}$	$\overline{}$										

1